

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第126期 幹部予定者課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に入校される皆様、御入校、誠にめでたうございます。

皆様は、これまで部隊などにおいて、たくさんの訓練と経験を積み重ね、その実績が認められ、晴れて幹部予定者課程に入校されたと伺っております。

そのような皆様をお迎えできることは、江田島市としても大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境に目を向けますと、中東への自衛隊派遣、北朝鮮による度重なるミサイルの発射実験、東アジア各国との領土問題など、様々な問題に直面しております。

そのような中、自衛官の皆様が、警戒監視活動を始めとする防衛任務に、昼夜を問わず365日、懸命に当たられていることは、大変心強く、頼もしく思っております。

どうか、皆様におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐここ江田島で、幹部自衛官として、崇高な使命感を胸に、高い教養と技能、そして強い責任感と指導力をさらに身につけ、卒業後には、その実力を存分に発揮されることを、心から期待しております。

江田島市は、四季折々の美しい自然に囲まれた、瀬戸内海に浮かぶ風光明媚な瀬戸の島として、親しまれており、江田島の魅力を伝える新たな取組として、2月28日から3月15日まで、「えたじまものがたり 博覧会」を企画しております。また、6月にはカヌーやサイクリングなどで、海と山の自然を満喫できる「SEA TO SUMMIT」といったイベントも行われます。

ぜひ、厳しい訓練の合間には、こうしたイベントに御参加いただき、江田島の暮らしや自然を満喫し、江田島市との「縁」を紡ぎながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和2年2月21日

江田島市長 あきおか 明岳 しゅうさく 周作